

# JFM だより

Vol.10  
Spring 2014

今号の表紙

## 新潟県長岡市 トキと自然の学習館

【特集】P1~6

特別インタビュー



理事長に聞く、  
JFMのこれまで。  
そして今後に向けて。

地方公共団体金融機構  
理事長 渡邊雄司

融資の実(今号の表紙) .....	P7~10
がんばる公営競技 .....	P11~12
自治体ファイナンスよもやま話 .....	P13~14
地方支援ダイアリー .....	P15~16
基金運用ひとくちメモ .....	P17
人事交流日記 .....	P18
私たちがJFM債買ってます! .....	P19
JFMからのお知らせ .....	P19



地方の、地方による、地方のための



地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities



新潟県長岡市 トキと自然の学習館



# トキを通じて 地域の自然環境を学ぶ

ニッポニア・ニッポン(Nipponia nippon)、国の特別天然記念物であり国際保護鳥でもあるトキ。この希少な鳥を守り増やす取り組みは、これまで長く新潟県佐渡市の施設で行われてきましたが、平成19年、リスク分散のために他の土地でもトキを育てる分散飼育が始まり新潟県長岡市でも平成23年に開始しました。これを機に、環境教育に活かそうと、平成24年「トキと自然の学習館」を開館し、トキや里山の自然を守る大切さを伝える活動を続けています。

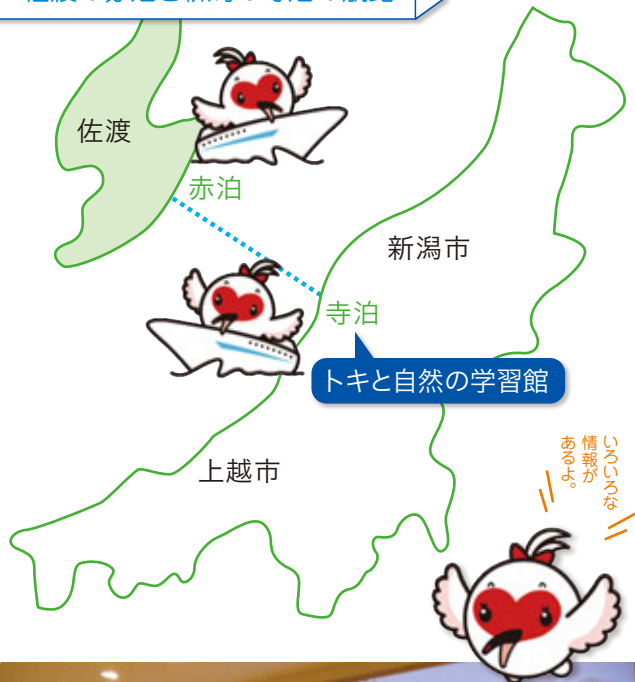


## 佐渡以外でも始まった分散飼育

**昭** 和56年、野生のトキが佐渡に残る5羽となったことから、環境省では全鳥を保護のため捕獲し「新潟県トキ保護センター」(佐渡市)で人工繁殖を行うこととしました。その後、協力関係を結ぶ中国から成鳥を迎え入れることで着実に数を増やし、今では飼育中のトキ186羽、野生復帰を目指す放鳥は9回・142羽に達しています(平成26年3月10日現在)。

一方、佐渡での集中的な飼育・繁殖は、鳥インフルエンザが発症した場合などのリスクが高いため、佐渡以外の場所でも飼育・繁殖を行う分散飼育をスタート。平成19年の東京都多摩動物公園を皮切りに、石川県(いしかわ動物園)、島根県出雲市(出雲市トキ分散飼育センター)そして、新潟県長岡市(長岡市トキ分散飼育センター)と広がっていきました。

### 佐渡の赤泊と新潟の寺泊の航路



長岡市の自然環境を伝えるパネル

## トキの誕生と成長

### ヒナ誕生の様子



最初のヒナが卵の殻を破って誕生するときのシーンです。誕生の約1日前から嘴(はし)打ちが始まり、卵の殻を自力で少しずつ上手に破りながら、めでたく誕生です。

### 誕生から5日後のヒナ



すっかり羽毛に覆われ、一段とかわいらしくなりました。餌の量は日ごとに増え、5日目には1日約80グラム。体重の割にはすごい食欲です!

### 40日後でこんなに大きく



誕生から40日後のヒナです。止まり木にも止まれるようになりました。羽ばたくしぐさが見られます。

繁殖期を迎え、羽根が黒っぽくなってきたトキのカップル。



隣接するトキ分散飼育センターのトキのライブ映像を見ながら、解説を聞くことができる。



## 中越大震災復興の象徴として

**全**国で分散飼育が広がる中、長岡市では絶滅の危機から復活したトキを新潟県中越大震災からの再生の象徴として迎えたいと、平成23年「長岡市トキ分散飼育センター」を開設しました。分散地に選ばれた長岡市寺泊地区は雪が少なく、佐渡の自然環境に近いという特徴があり、また佐渡の赤泊とも定期航路で結ばれています。

センターが設けられたのは、寺泊地区の中でもかつてトキが暮らしていたような静かな農村の一角。周辺に広がる稲作地を望むやや小高い場所に、繁殖ケージと飼育ケージ、それぞれ3区画および孵化室などの付帯設備からなる飼育施設が整えられています。平成23年10月に2ペア、その後1ペアを佐渡から迎え、25年には長岡生まれの最初のトキ3羽を佐渡トキ保護センターへ送っています。

## トキと市民を結び、 環境保全への意識を高める

**セ**ンターは、繁殖を妨げない静かな環境を保ち、鳥インフルエンザ感染などの危険を避けるため、限られたスタッフしか立ち入れない非公開の施設となっています。

この隔絶された施設と一般の方たちとの橋渡し役を務めているのが「**トキと自然の学習館**」。JFMの融資を利用して平成24年3月にオープンしました。この学習館は、「トキを通じて地域の自然と環境について関心を持ってもらう拠点」として生まれました。

場所は分散飼育センターと同じ敷地内にある、かつての小学校の校舎。耐震補強を施した上でリニューアルを行い、トキのことだけでなく長岡市の自然、生き物と人の共生などを伝える展示室を設けました。ここでは大型モニ

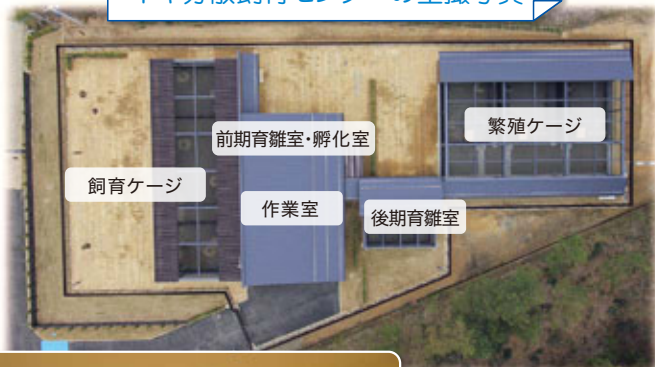
ターを通して、トキ分散飼育センター内のライブ映像を見ることができるようになっています。

「来館者の中心は、市内の小学校の子どもたちです。総合学習の一環として、展示室を見学した後、2階の研修室で自然との共生について、考えてもらう学習の場を提供しています。また、寺泊に観光でいらした方が、旅館のバスで訪れることもありますよ。」(トキ分散飼育センター長・和田美知男さん)

「長岡市内外を問わずより多くの方に来館していただきたいと思います。特に子どもたちがトキや自然環境について楽しみながら学ぶことができる講座を開催していきたいと思っています。」(長岡市環境部環境政策課・酒井億さん)

トキは、戦後の農薬の使用や開発により生息地が狭められたため絶滅に瀕しました。だからこそトキを知り人と自然の共生を考える意義は大きく、「トキと自然の学習館」が果たす役割にも期待が高まります。

### トキ分散飼育センターの空撮写真



※トキ分散飼育センターについては、JFMにおいて融資させていただいた施設ではありませんが、本施設は、分散飼育と非常に密接な関係を有しており、分散飼育をご説明する上で必要不可欠な施設であることからご紹介させていただきます。

### 長岡市情報コーナー

長岡は、新潟県の中央に位置する県内2番目の大きな都市です。県内・県外への交通アクセスにも優れ、東京には、JR上越新幹線で約100分、関越自動車道で約180分で行ける距離にあります。「花火のまち」としても知られ、大規模な花火大会が数多く開催され、地元はもちろん、県内外からも多くの観光客が訪れます。中でも、毎年8月に開催される「長岡まつり」は、全国で最大級の大型花火を上げる花火大会として有名で、年々来場者が増え、会場は大賑わいです。「トキと自然の学習館」のある寺泊地区でも、寺泊海上大花火大会が毎年開催され、華麗な「海中海空スターメイン」や「海上フェニックス」など約5,000発の花火が夏の夜空と寺泊の海を彩ります。



寺泊海上大花火大会



長岡まつり大花火大会



寺泊から臨む日本海の夕日



長岡駅と中心市街地

#### 長岡市データ

人口：279,293人(平成26年5月1日現在)

#### 市の木「ケヤキ」

春の新緑や秋の紅葉が美しいケヤキ。JR長岡駅前、千秋が原ふるさとの森などで見ることができます。



### 長岡市トキと自然の学習館

www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/toki\_gakusyu/  
〒940-2522 新潟県長岡市寺泊夏戸2829  
電話・FAX：0258-75-3201